



強風時のスピナーカーのバースト、破損についての注意書

この度は、ノース・ワンデザインセールをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前にこのガイドをよくお読みになり、正しくお使い下さい。

現存するspin用セーリングクロスにおいてノースセールが使用しているポリエステル製の 0.75oz のクロスは 470 級用の spin クロスとして下記の理由で最も優れています。

<利点>

- 1) 伸びが少なく、強い
- 2) 軽い
- 3) 水にぬれても伸びがなく計測アウトのリスクがない
- 4) 水を吸収しないので、ぬれても重量の変化が少ない

しかし、クロス自体が非常に強く伸びが少ないため強風下ではバースト（破裂）または破損することがあります。

<バーストまたは破損の原因>

- 1) 伸びが極端に少ないため強風下では、シバーした後、風が再びはらんだ時やブローチングしたあと、艇が立ち直って艇速がおちた状態で再度、風がはらんだ時、波にバウが突っ込んで艇速が急に落ちたとき、瞬間的に強いブローを受けたときなど。
- 2) スピンをホイスト（あげる）時、スプレッダーの先端に干渉して、セーリングクロス表面に損傷を受けたり、またはピンホールが発生すると、その部分がきっかけとなり、スピンのつづれた後再度はらんだときやセーリング中にバーストすることがある。
- 3) スピンがつづれた時、ジブハリヤードとラフワイヤーがシャックルでジョイントするピークの部分に接触またはスピンのリーチテープが絡むなどしてそこから引きちぎれる。またはその際に生じたクロス表面のダメージがきっかけとなりバーストする。またジブハリが痛んでいて棘だっていればスピンは簡単に傷つきバーストおよび破損の原因となる。

<対応策>

- 1) スプレッダーの先端付近をしっかりテーピングして摩擦がある状態であげてもクロスにダメージが起らないようにする
- 2) ホイストのとき必ずガイシートを先に引き、ポンプ式の場合はひとひきでスピンのピークがスプレッダーの高さをクリアするようにする
- 3) スピンハリヤードに少し伸びやすいシート（ポリエステル製）を使用すると強いブローあるいは風圧に対しショックアブソーバのように作用しバーストを防ぐ。（これはもっとも有効なバースト防止対策）